

# 西海ブロック水産業情報

NO. 71 (平成22年10月～12月)

## 増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
<p>10月上旬から30kl水槽2面を使用しアカアマダイの種苗生産試験を開始した。11月下旬～12月上旬に平均全長27.8mmの稚魚約12.5万尾を取り上げた。現在、2～3月の放流にむけて中間育成中。</p>	<p>●豊前海 ・カキ養殖は、全体的にへい死が少なく、きわめて順調に推移。成長はほぼ平年並み。身入りは遅れ気味であったが、12月に入って良好。 ・ノリ養殖は、11月下旬から摘採を開始。色落ちの発生もなく生産は順調。 ●有明海 (ノリ養殖)・10月23日に採苗が行われ、秋芽生産で4.5億枚(過去5年比112%)、52.8億円(同129%)の共販実績。12月28日から冷凍網生産を開始。</p>	<p>●玄海 ・オニオコゼ1万2千尾(全長52mm)を、10月25日、仮屋湾と相賀地先に放流。2/3は右腹鰭をカット。 ・クエ500尾(全長25cm)を、11月16日、加部島地先に放流。全個体に標識を装着。 ・シンクロトロン光によるケンサキイカ平衡石の分析。 ●有明 「研究の動向」【水産資源関係】 ・タイラギ調査、漁獲物動向調査(市場調査)を実施。 【水産海洋・漁場保全関係】 ・浅海定線調査、漁場環境モニタリング調査(底質、マクロベントス)、サルボウ適正生息環境調査(水質)、貝毒分析(サルボウ) 【水産増養殖関係】 ・タイラギ干潟移植試験、放流アゲマキ追跡調査、アサリ・サルボウ生息量調査 ・養殖マガキの付着密度比較試験およびカゴ飼育比較試験 ・沖合域におけるモガイ殻 散布耕耘試験 「水産業の動向」【水産資源関係】 ・ガザミの漁獲量は平年並みであったが、小型個体が多く漁獲された。 ・クルマエビの漁獲は、10月前半までは好調であったが、その後は少ない。 ・タイラギ潜水機漁業は、12月1日に解禁され、東部海域で漁獲されている。1日1隻あたりの漁獲量(推定)は10～20kgであった。 【水産海洋・漁場保全関係】 ・10～12月の水温は、10月まで平年より高くそれ以降は平年より低めで推移した。 ・10～12月の比重は、いずれもほぼ平年並みで推移した。 【水産増養殖関係】 ・大浦地先で行っているマガキ養殖については、高水温によると思われる大量斃死が9月中旬から下旬にかけて発生し、対前年比で2割程度の生残状況と推定され、12月11日から出荷が始まった。 ・今漁期のノリの採苗は、水温が平年よりやや高い傾向が続いたため、平成19年度に次ぐ遅さとなり10月22日から開始され、25日までにほぼ順調に終了した。 ・その後、水温も順調に低下したことなどから、秋芽網期の生産状況は、生産枚数7.5億枚、生産金額95.1億円、平均単価12.53円となり、枚数、金額共に平年(H5-21)より上回る結果であった。 ・冷凍網期の生産は、西部・南部地区の一部が12月29日(他の地区では1月2日)に冷凍出庫された。</p>	<p>●標識放流 ・ホシガレイ(全長13～15cm、19千尾、有明海)、オニオコゼ(全長7cm、380千尾、有明海) ●放流魚追跡調査 ・トラフグ、ホシガレイ、ヒラメ、アワビ他について追跡調査を実施 ●種苗生産 ・アカアマダイ:9月下旬から10月上旬に対馬、山口県および(独)水産総合研究センター宮津栽培漁業センター(京都)から受精卵を搬入して、種苗生産試験を実施し、12月に約27千尾の稚魚を生産した。 ・メイタガレイ:有明海において漁獲される天然親魚を用いて、12月から採卵試験を実施中である。 ・マガキ(シングルシード):種苗生産試験を行い、試験養殖を実施中。</p>	<p>クルマエビ養殖関係:PAVの発生は確認されていない。</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
<p>特記事項なし</p>	<p>●10月5日に延岡市須美江で葉上部流出後のアントクメ仮根部を採取し、10月21日に遊走子の採取を試みた。結果、8株中4株から多くの遊走子を採取した。現在(H23.1)その内2株の配偶体培養中。 ●12月8～9日にかけて、宮津栽培漁業センター～宮崎水試間でのアカアマダイ(全長48mm)の輸送試験を実施した(ブローアー通気、途中フェリー使用)。輸送密度は、0.25トン活魚槽に2,000尾、0.5トン活魚槽に1,000尾とした。輸送時間は8日11:00～9日9:00の22時間だった。両水槽とも輸送時間、輸送密度によると思われる死亡は認められなかった。 0.5トン:平均水温16.0℃、平均DO7.73mg/L、死亡尾数7尾 0.25トン:平均水温15.5℃、平均DO6.47mg/L、死亡尾数14尾</p>	<p>豊後水道の入津湾でProrocentrum dentatum の赤潮(10月7日～10月13日、最高密度4,000細胞/ml)、米水津湾でCochlodinium polykrikoides の赤潮(10月18日～11月4日、最高密度945細胞/ml)、猪串湾でCochlodinium polykrikoides の赤潮(11月29日～継続中、最高密度3,500細胞/ml)が発生した。</p>	<p>特記事項なし</p>